

次期の見通し

■企業のIT投資は慎重さを伴いながらも底堅く推移すると予想

今後のわが国経済は、欧州景気減速の影響や円高により輸出や生産が弱い動きを継続した後、震災の復旧・復興需要により年後半から企業の設備投資も緩やかに持ち直すものと考えられます。また世界経済は、新興国経済の復調など期待できるものの、欧州の金融問題への懸念など不透明な状況にあります。

このような経済環境のもとで、企業のIT投資は慎重さを伴いながらも、底堅く推移するものと予想されます。西暦2000年問題対応のために導入したシステムの更新需要二巡目、IPv6対応等による買い換え・更新需要、タブレット端末の活用などによるIT市場の活性化や新たな市場の創出が期待されています。また昨年引き続き、省電力パソコンやサーバの導入、サーバの統合化、省電力機器やLED照明を利用したBEMS（ビルエネルギー管理システム）の導入など電力使用量削減と、バックアップサービスやASPなどのデータセンター利用によるBCP対策が企業に必要とされています。

■お客様との接点を強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは、「お客様の目線で信頼に応え、オフィスを元気にする」を2012年度のスローガンに掲げ、地域密着型運営体制のさらなる強化のもと、お客様との接点を強化してワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、生産性向上、投資対効果、電力使用量削減効果の高いシステム提案を積極的に行い、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮していきます。

また複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材の整備・拡充による品揃えの強化、魅力ある保守サービスの開発等ストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の強化を図ります。

2012年の方針と施策

〈スローガン〉

「お客様の目線で信頼に応え、オフィスを元気にする」

- ワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、お客様接点を強化
- ITニーズ、省エネニーズを顕在化させる
- 顧客深耕と新規開拓を並行して進める
- 総合提案・複合提案の推進
- ストックビジネス強化

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進します。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。

■次期の業績見通し

次期の連結業績見通しといたしましては、売上高4,930億円(前年同期比3.1%増)、営業利益240億円(前年同期比3.9%増)、経常利益245億円(前年同期比5.1%増)、当期純利益135億50百万円(前年同期比6.3%増)を計画しております。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が2,691億10百万円(前年同期比2.5%増)、サービス&サポート事業が2,229億90百万円(前年同期比3.9%増)、その他の事業が9億円(前年同期比20.4%減)を計画しております。

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2011年 12月期	2012年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	478,215	493,000	+3.1%
営業利益	23,095	24,000	+3.9%
経常利益	23,315	24,500	+5.1%
当期純利益	12,744	13,550	+6.3%

セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2011年 12月期	2012年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	262,508	269,110	+2.5%
サービス&サポート事業	214,576	222,990	+3.9%
その他の事業	1,130	900	-20.4%